

近畿支部会報2015年5月号

新緑の若葉が美しい頃となりました。皆さまにはいかがお過ごしでしょうか。

ゴールデンウィークが終わるとモンゴルの障害児教育研修団の方、11人が来られました。9日のモンゴル歓迎交流会に始まって、16日の離日まで、たっぷり研修に励まれ、日本で学んだ事を元に、モンゴルに帰って頑張るという言葉を残して帰られました。直接お世話した者は来てもらって良かったとの思いで一杯です。会員の皆様には、いろいろご協力していただき、ありがとうございました。

すでにご存じのように、モンゴルの方の日本での滞在費を援助するため、日本サーバスとして支援金を集めました。サーバス以外の方からの支援もあり、目標額を大幅に上回るご好意が寄せられました。一人で10万円も寄せて下さった方もおられ、余ったらお返ししますと言うと、モンゴルのために出したのだから、そのために使ってほしいとの事でした。役員で相談して、支援者の意思を生かすため、今回に終わらせず、余った支援金を元に、日本・モンゴルの障害児関係の交流をしようということになりました。今回の事は日本サーバスが主催して行いましたが、今後は実行委員会等を組織することになると思います。この事を歓迎交流会で提案した所、積極的に受け止められ、モンゴルの方は来年実施の方向で考えて下さっています。皆さまのご厚意がこのような形でも花開く事になりました。本当にありがとうございました。

今回の会報は、次の内容でお届けします。

1、モンゴル歓迎交流例会報告	熊取町	M.Y
2、トラベラー受け入れ報告	Visit Japan in April	From M in Paris
	初めてのトラベラー受け入れ	芦屋市 H.S
	フィリピンからこんにちは	京都市 H.T
	ショートメッセージ	京都市 K&S
3、会員交流「北から南から」	モンゴル障害児教育研修報告	支部長
	メッセージ	京都市長 門川大作
		H on behalf of Mongolian team
4、お知らせとお願い		支部長

1、モンゴル歓迎交流例会報告

熊取町 M.Y

去る5月9日、京都市の近江屋ロープ株式会社3階会議室で支部例会「モンゴル歓迎交流会」が盛大に開催されました。その1部をご紹介します。

サーバス近畿支部長の司会で開始され、日本サーバス会長からモンゴル障害児教育研修団に対する歓迎の挨拶がありました。次に来賓の障害児教育専門家のK.Rさんから歓迎の言葉をいた



いただきました。最後にモンゴル障害児教育研修団を代表して、モンゴルサーバス会長の H さんより感謝のご挨拶がありました。

続いて、京都市長門川大作様、日本モンゴル文化交流協会会長佐藤紀子様、Servas International Peace Secretary D 様からのメッセージが紹介されました。通訳は長年日本に住んでいらっしゃるモンゴルの P.E さんに行っていました。

第二部の懇親会は E さんの乾杯の音頭で和やかに開始されました。ロングスティッククラブの軽音楽部・ケイオンズの 6 名の方に数々の懐かしい曲を演奏していただきました。中でも「幸せなら手をたたこう」という歌は、モンゴルでもよく知られていて、モンゴルの方全員で歌ってくれ、大変場が盛り上がりました。次に、モンゴルの音楽大学を卒業され、日本に 7 年間住み、社会福祉法人に勤務しておられるさんが、民族衣装を着て、馬頭琴を演奏して下さいました。あまりにも素晴らしい演奏なので、一同大興奮の渦にまかれてしまいました。特に渡り鳥と老人が会話をする歌を朗朗と歌われ、日本人にはとても出来ない一人の人間が 2 つの声帯を使っているのではないかと思われる歌い方は圧巻でした。

最後に支部長から、これに終わらず今後も日本・モンゴル障害児の交流が出来ないか皆で検討しようとの提案がありました。その 1 例として、ウランバートル郊外にある日本人が寄付した宿泊施設のスライドを見せて頂きながら、モンゴル・日本の障害児親子の集い(キャンプ)も考えられると、一同希望に胸を膨らませました。

最後に参加者全員による自己紹介が行われ、和気藹々の中でお開きとなりました。

参加者 39 名 (サーバス関係 14 名 招待者 8 名 LSC ケイオンズ 6 名 モンゴル 11 名)



2、トラベラー受入れ報告

Visit Japan in April

From M in Paris

My dearest Servas friends

Thanks a lot for your hospitality, for your kindness, for your friendship, for taking care of me, for having teach me so much, and made my trip in Japan wonderfull!!

Thanks to T, E and S in Kyoto

Thanks for hosting me since 3 years. Thanks for having teach me how to play to Hanafuda and Hyakunin ishu !

I bought this games for my granddaughters. (Please can you scan for me the pieces of paper with the pictures, it is not in my game, I have just the cards)

Next time I want to know the secret of your cabbage salad!! and banzai to S, you progress a lot in English

Thanks to Y and S and their sons in Ishyama, Otsu

Thanks to hosting me since 3 years. I'm very happy to had share with you, yours activities, and to have been to your yoga course. Thanks for showing me how to cure a baby with stomach problem. S, thanks for teaching me how to do Okonomiyaki. I'm happy also to know , now your 3 handsome sons and their new daughter in law!!!! Banzai to S, who progress in English! I hope to come back with you again to your yoga course next year!! Say thanks to your teacher for the massage !!

Thanks to T and K in Osaka

Thanks for hosting me since 3 years. Thanks to T for his warm jacket, without it, I could died of cold in Koyasan. Thanks, K, for teaching me how to cooking, bambou and a french japanese gratin!! I like also when we study french together, T!



初めてのトラベラー受入れ

芦屋市 H.S

アメリカ女性 E. P さんを4月7日から3日間受け入れました。同じ年代の方で、いろいろと話したいのが受け入れ理由です。夜、JR 芦屋駅で落ち合い、外で食事をとりました。

彼女はグループの一員で既に来日、主な所を観光した後、広島の servas の会員を頼り、その後、高野山に単独行動ののち、我が家へ来ました。京都では、H さん宅も訪問されました。

滞在中は、good will club のガイドで、奈良と神戸を回りました。ボランティアなので費用もかからず、最寄りの駅迄迎えに来たりで、賢い方法だと思いました。

二度の結婚、弁護士資格があり、最近まで、大学の寄付金の差配の仕事をしていました。

娘さんとパソコンで、毎夜電話をしていました。

アメリカの政治、オバマ大統領の現在など、意見交換を行ないました。

フィリピンからこんにちは

京都市 H.T

1月にフィリピンに行った時お世話になった S さんから「飛行機が取れたので家族と行きたい」とメールがありました。「OK 家族は何人」と聞くと、「6人」えー!!! でも何とか工夫して来て貰う事にしました。6ヶ月と6歳の子供を連れた妹夫婦、お母さん、そして本人、4月20~25日滞在されました。2日目、京都を観光案内してその夕方、6歳の子供が喘息発作になりました。苦しそう! 保険に入っていないので受診をためらっていましたが、治まらないので救急で日赤病院へ行きました。処置をして帰る日までの薬を貰って一安心。5泊は大変かなと思っていましたが、さにあらず。2泊はゲストの感じですが、5泊



となると親類が来たようで、皆も食後の片付け等も役割のようにてきぱきしてくれたし、そんなに負担を感じず、子供たちの笑顔ありの楽しい日々でした。京都、奈良、大阪を観光したり、和牛はフィリピンではとても高いので、食べたいと和牛を買いに行ったり、日本での滞在を楽しまれ、また、会おうと指切りしての別れとなりました。

ショートメッセージ

京都市 K&S

5月13日に、アメリカ人のカップル(J & K Z) をデイホストで受け入れ、京都市内をご案内しました。京都の後は東京に行かれ、継ぎはベトナムに行かれるとのことでした。

3、会員交流—北から南から—

モンゴル障害児教育研修報告

支部長

1, 来日されたモンゴルのメンバー

名前	所属団体	地位	性別	年齢
B. K	教育科学省教育研究所	副主任	女	45
T. T	教育科学省教育研究所	特殊教育課程研究員	女	41
C. J	教員教育センター	神話学員	女	50
P. M	障害のある子供を持つ保護者協会	子供発達センター教員	女	34
B. B	障害のある子供を持つ保護者協会	民生委員 指導的保護者	男	46
B. S	自閉症連絡会	保護者 (父)	男	32
D. U	自閉症連絡会	保護者 (母)	女	32
S. C	自閉症連絡会	自閉症児童	男	9
N. B	障害に寄り添う特別学校	学校経営者	女	49
D. O	障害に寄り添う特別学校	教員	女	49
S. U	ダウン症連絡会	保護者 (母)	女	35

2, 見学日程

8日	来日	関空	
9日	歓迎交流会	京都	
10日	知的障害児・者施設「止揚学園」	滋賀	
11日	重度障害者支援施設「ともがき」	大阪	見学と講演「障害児及び学校システムについて」
12日	大阪府立富田林支援学校 金剛コロニー	大阪	
13日	大阪府立視覚支援学校 又は 大阪市立聴覚特別支援学校 大阪ドーンセンター	大阪	午前中2班に分かれてどちらかの学校を見学する モンゴル・日本障害児親の懇談会
14日	京都市立小・中一貫校 凌風学園	京都	障害児学級併設

	京都市教育総合相談センター		京都市の障害児支援システムについて
15日	研修のまとめ・観光・ショッピング		
16日	離日	閑空	

3, 各見学先での一言コメント

止揚学園	学園の考え方(この子供たちは神様の贈り物、見えるものより見えないものを大切にする等)に感激されました。
ともがき	部屋のづくり(ベッドが希望の人にはベッドを、畳がいい人には畳を等)まで入所者個人の要望を取り入れる等、細かい配慮に感心されました。
富田林支援学校	学校長がモンゴル語を話し、説明文書もモンゴル語で作られている事にびっくり、生徒たちもモンゴル語で挨拶したり、歓迎の絵を描いてくれる等、行き届いた受け入れに、感激の一言でした。
金剛コロニー	生まれてから死ぬまで、ケアシステムが整っていることに感心されました。
視覚支援学校	弱視から全く見えない生徒まで状態に合わせた個別指導をされている事に感心されました。
聴覚特別支援学校	今は整っている日本の聴覚障害児教育も初期には個人の非常な努力から生まれた事に、感じ入っていました。
親の会の話し合い	日本でも現状が少しでも良くなるように親が常に力を合わせて頑張っておられることがよくわかりました。
凌風学園	配慮の行き届いた明るい学校で、休み時間には生徒が話に来てくれました。モンゴルの自閉症の子も学校の生徒と一緒に楽しく遊びました
教育総合相談センター	とても丁寧な説明で、今まで色んな所で聞いたことが整理でき、モンゴルと日本の違いもよくわかりました。

全体を通じて、モンゴルでは学校が決めた教育に子供をあてはめていて、校長先生は偉い方で子供とはかけ離れていた存在だが、日本では子供がどんな事を学びたいかから出発し、校長先生も他の先生方と共に子供を中心に楽しい学校が運営されている事が印象的だったそうです。

4, 観光

9日	東本願寺	会員 W さんの紹介で、普通には見られない所も拝観させて頂いたり、とても丁寧な説明を受け、散華等お土産まで頂きました。
9日	コンサート	前の方に席を確保して下さり、席にはモンゴル語で歓迎の挨拶も用意されていました。
10日	ながらの座座	400年前に出来た文化財指定の家で、心休まる食事を楽しみました。
13日	大阪城	昼に時間があつたので、大阪城でお弁当を楽しみました。
13日	骨休め (一部の方)	日々のスケジュールにストレスを溜めているモンゴルの自閉症児のため、ホストの S さんがミシガンに乗ったり、楽しい1日を用意して下さいました。
15日	観光 ショッピング	ステイ先のホストと、京都では、光明院、伏見稲荷神社を見た後、京都駅周辺でショッピング、大阪では大阪市内で観光とショッピングをしました。

5、サーバスホスト

見学のある時は皆が集合しやすいように、家が比較的近くの大津のWさん、Sさん、京都のHがホストをし、見学が済んでから、関空に近いAさんにもホストをして頂きました。

京都市長挨拶文

日本サーバス モンゴル障害児教育研修団歓迎交流会

(平成27年5月9日 於：近江屋ロープ株式会社社会議室)

モンゴル障害児教育研修団の皆様、ようこそ京都にお越しくださいました。147万人の京都市民と共に、心から歓迎いたします。

また、この度の研修の実現に御尽力されました日本サーバスの皆様におかれましては、長年にわたり、各国の会員の皆様と共に、国際親善や異文化理解、世界平和につながるお志の高い御活動を続けていただいております。改めて深く敬意を表します。モンゴルの皆様と日本人は民族的に同じルーツを持つとも言われており、顔立ちがとてもよく似ています。また、白鵬関をはじめとする多くのモンゴル出身の関取の御活躍もあり、私もモンゴルに大変親しみを感じています。

明日からの研修では、京都をはじめ関西の障害者施設や教育機関等を見学されると伺っております。京都市では、障害の有無にかかわらず、すべての方が個人として尊重され、いきいきと活動しながら、相互に支え合い安心してらせるまちづくりを進めています。皆様が研修で感じられたこと、学ばれたことを、貴国の障害児教育の発展に生かしていただければこの上ない喜びです。

また、昨年京都は、世界的に大きな影響力を持つ旅行雑誌「トラベル・アンド・レジャー」誌の読者投票で人気都市世界一に選ばれました。この機会に、世界の人々から評価いただいた京都のまちなみや文化、おもてなしなど、多彩な魅力にも触れていただければと存じます。

結びに、今回の研修が皆様にとって実り多いものとなりますこと、そして貴会の今後ますますの御発展と日本・モンゴル両国の更なる友好親善を祈念いたします。

京 都 市 長

門 川 大 作

Hさんよりのメッセージ

H on behalf of Mongolian team

We are very much appreciate your great contribution and help which comes from bottom of your heart.

We have been talking about this trip schedule

1. very useful organizations
2. very warm hospitality every where
3. very responsible people, especially top peoples like directors and vice-directors
4. very good management and plan
5. very nice host with great hospitality from Servas Japan.



Due to language barrier, the members couldn't express their nice feelings.

One who visited Japan before said to me that, ' my thinking was changed completely in positive way, because this trip was great' .

Thank you for everyone to give us believe, common understanding , good inspiration and feelings to work for children with disability in Mongolia.

Will try our best.

4、お知らせとお願い

支部長

* モンゴルの方の「なるべく多く学びたい」との要望を受けて、早い日には朝の 5 時台に家を出なければならないきついスケジュールでしたが、モンゴルの方皆さんが元気で多くを学ばれ、無事に帰って行かれました。会員の皆様、ご協力本当にありがとうございました。

* 秋の例会を国際サーバスのピースセクレタリーD さんをお迎えして、9月27日(日)大津市会員 S さん宅で行います。詳しい案内は後ほどしますので、ご予約下さい。

* 2015 年度サーバス年会費（一般3000円学生2000円休会者B1500円）未入の方は、次の口座へ宜しく願います。口座番号00990-6-33645 加入者名 日本サーバス近畿支部

以上